

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

理工学部教育研究上の目的

理工学部には、数理・データサイエンス学科を置く。数理・データサイエンス学科では、「数理科学」「データサイエンス」に関する教育研究を通して、数理科学、データサイエンスに関する基礎的・基本的な知識と技能の修得のもと、数理科学、データサイエンスの理論や手法を活用し、数理科学、データサイエンスに関する諸活動を主体的・合理的に行うことのできる能力と態度を育成することを目的とする。

(追手門学院大学理工学部規程第2条)

数理・データサイエンス学科は、「幅広く深い教養及び主体的な判断力と豊かな人間性を身に付け、倫理観をもって理学と工学の両方の立場からの基礎的な視点を持ち、数理科学の基礎となる「代数学」「解析学」「幾何学」による数学の基礎力に加えて、「確率論」「統計学」「機械学習」などのデータサイエンスの専門領域に係る教育研究から、基本原理の理解と基礎的な技術力、問題解決能力をもって、データが持つ意味を見出して現代社会の諸課題を解決することで社会に貢献する職業人」を養成します。

養成する人材の目的を達成するための卒業認定・学位授与の方針は、以下の通りとします。

- (1)これまでに修得した知識・技能を活用して、数理科学、データサイエンスに関する社会における課題を発見し、主体的に向き合って解決する能力を修得している。
- (2)数理科学、データサイエンスに必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識・技能、思考法を身に付けている。
- (3)数理科学、データサイエンスに関する基礎的・実践的な知識の理解・技能の修得のもと、数学的な論理や思考、データの統計的処理に基づいて数理科学、データサイエンスの手法を用いた課題解決をするための思考力を有している。
- (4)数理科学、データサイエンスとの関連性や応用性を有する情報分野や工業分野に関する基礎的な知識を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

数理・データサイエンス学科では、卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を示した卒業認定・学位授与の方針に対する教育課程編成・実施の方針を次のとおり定めることとします。

- (1)卒業認定・学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針

<研究科目>

卒業研究を通して、数理科学、データサイエンスに関連する問題発見方法や課題解決手法の修得及び批判力、論理性、表現力を高めるための科目群を設ける。

<基盤共通科目>

数理科学、データサイエンスに必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識と技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基礎科目>

数理科学、データサイエンスを修得するうえでの基礎となる知識・技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基幹科目>

数理科学、データサイエンスに関する理論とその実践に関する専門的な知識・技能を得るための科目群を設ける。

<専門発展科目>

各々の興味関心に基づき、数理科学、データサイエンスの手法を用いて課題を発見し解決するための思考力を得るための科目群を設ける。

<専門展開科目>

数理科学、データサイエンスとの関連性や応用性が深い情報分野や工業分野に関する基礎的な教育内容を取り扱うための科目群を設ける。

アドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

理工学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「理工学分野」として、理工学分野に関する教育研究を通して、「理学と工学の両方の立場から、科学技術に関する研究と教育を実践する」ことを教育研究上の目的としています。

数理・データサイエンス学科では、教育研究上の目的や養成する人材と教育課程との関連性を踏まえ、具体的な入学受入れの方針について、以下の通りとする。

- 1) 本学科の養成する人材像を理解し、データから課題を見出すことに興味を有している者
- 2) 高等学校で履修した数学などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している者
- 3) 物事を正しく認識し、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられる能力を有している者

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

理工学部教育研究上の目的

理工学部には、機械工学科を置く。機械工学科では、機械工学分野に関する教育研究を通して、機械工学に関する基礎的・基本的な知識と技能の修得のもと、機械工学の理論や手法を活用し、機械工学に関する諸活動を主体的・合理的に行うことのできる能力と態度を育成することを目的とする。

(追手門学院大学理工学部規程第2条)

機械工学科は、「幅広く深い教養及び主体的な判断力と豊かな人間性を身に付け、倫理観をもって理学と工学の両方の立場からの基礎的な視点を持ち、機械工学の根幹をなす機械力学、材料力学、流体力学、熱力学の「四力学」、「制御工学」、それらを基礎とした機械の「設計」、「加工・生産」などの専門領域に係る教育研究から、基本原理の理解と基礎的な技術力、問題解決能力をもって、社会における諸課題にもものづくりの技術をもって取り組むことで社会に貢献する職業人」を養成します。

養成する人材の目的を達成するための卒業認定・学位授与の方針は、以下の通りとします。

- (1)これまでに修得した知識・技能を活用して、機械工学に関する社会における課題を発見し、主体的に向き合って解決する能力を修得している。
- (2)機械工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識・技能、思考法を身に付けている。
- (3)機械工学に関する基礎的・実践的な知識の理解・技能の修得のもと、修得した知識・技能を応用する能力を有するとともに、課題解決をするための思考力を有している。
- (4)機械工学との関連性や応用性を有する数理科学、データサイエンス分野や情報分野、工業分野に関する基礎的な知識を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

機械工学科では、卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を示した卒業認定・学位授与の方針に対する教育課程編成・実施の方針を次のとおり定めることとします。

(1)卒業認定・学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針

<研究科目>

卒業研究を通して、機械工学に関連する問題発見方法や課題解決手法の修得及び批判力、論理性、表現力を高めるための科目群を設ける。

<基盤共通科目>

機械工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識と技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基礎科目>

機械工学を修得するうえでの基礎となる知識・技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基幹科目>

機械工学に関する理論とその実践に関する専門的な知識・技能を得るための科目群を設ける。

<専門発展科目>

各々の興味関心に基づき、機械工学が社会にどのように応用されているのかを知るとともに、課題を発見し解決するための思考力を得るための科目群を設ける。

<専門展開科目>

機械工学との関連性や応用性が深い数理科学、データサイエンス分野や情報分野、工業分野に関する基礎的な教育内容を取り扱うための科目群を設ける。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

理工学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「理工学分野」として、理工学分野に関する教育研究を通して、「理学と工学の両方の立場から、科学技術に関する研究と教育を実践する」ことを教育研究上の目的としています。

機械工学科では、教育研究上の目的や養成する人材と教育課程との関連性を踏まえたうえで、具体的な入学者受入れの方針について、以下の通りとする。

- 1)本学科の養成する人材像を理解し、ものづくりの技術に興味を有している者
- 2)高等学校で履修した数学などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している者
- 3)物事を正しく認識し、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられる能力を有している者

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

理工学部の実学教育上の目的

理工学部には、電気電子工学科を置く。電気電子工学科では、電気電子工学分野に関する教育研究を通して、電気電子工学に関する基礎的・基本的な知識と技能の修得のもと、電気電子工学の理論や手法を活用し、電気電子工学に関する諸活動を主体的・合理的に行うことのできる能力と態度を育成することを目的とする。

(追手門学院大学理工学部規程第2条)

電気電子工学科は、「幅広く深い教養及び主体的な判断力と豊かな人間性を身に付け、倫理観をもって理学と工学の両方の立場からの基礎的な視点を持ち、電気電子工学に関する「電磁気学」「電気電子回路」「電気電子材料」「電気電子計測」「電力工学」「制御工学」「情報通信理論」などの専門領域に係る教育研究から、基本原理の理解と基礎的な技術力、問題解決能力をもって、現代社会の諸課題に対して電気電子の技術をもって取り組むことで社会に貢献する職業人」を養成します。

養成する人材の目的を達成するための卒業認定・学位授与の方針は、以下の通りとします。

- (1)これまでに修得した知識・技能を活用して、電気電子工学に関する社会における課題を発見し、主体的に向き合って解決する能力を修得している。
- (2)電気電子工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識・技能、思考法を身に付けている。
- (3)電気電子工学に関する基礎的・実践的な知識の理解・技能の修得のもと、修得した知識・技能を応用する能力を有するとともに、課題解決をするための思考力を有している。
- (4)電気電子工学との関連性や応用性を有する数理科学、データサイエンス分野や情報分野、工業分野に関する基礎的な知識を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

電気電子工学科では、卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を示した卒業認定・学位授与の方針に対する教育課程編成・実施の方針を次のとおり定めることとします。

(1)卒業認定・学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針

<研究科目>

卒業研究を通して、電気電子工学に関連する問題発見方法や課題解決手法の修得及び批判力、論理性、表現力を高めるための科目群を設ける。

<基盤共通科目>

電気電子工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識と技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基礎科目>

電気電子工学を修得するうえでの基礎となる知識・技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基幹科目>

電気電子工学に関する理論とその実践に関する専門的な知識・技能を得るための科目群を設ける。

<専門発展科目>

各々の興味関心に基づき、電気電子工学が社会にどのように応用されているのかを知るとともに、課題を発見し解決するための思考力を得るための科目群を設ける。

<専門展開科目>

電気電子工学との関連性や応用性が深い数理科学、データサイエンス分野や情報分野、工業分野に関する基礎的な教育内容を取り扱うための科目群を設ける。

アドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

理工学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「理工学分野」として、理工学分野に関する教育研究を通して、「理学と工学の両方の立場から、科学技術に関する研究と教育を実践する」ことを教育研究上の目的としています。

電気電子工学科では、教育研究上の目的や養成する人材と教育課程との関連性を踏まえたうえで、具体的な入学受入れの方針について、以下の通りとする。

- 1) 本学科の養成する人材像を理解し、電気電子の技術に興味を有している者
- 2) 高等学校で履修した数学などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している者
- 3) 物事を正しく認識し、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられる能力を有している者

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

理工学部教育研究上の目的

理工学部には、情報工学科を置く。情報工学科では、情報工学分野に関する教育研究を通して、情報工学に関する基礎的・基本的な知識と技能の修得のもと、情報工学の理論や手法を活用し、情報工学に関する諸活動を主体的・合理的に行うことのできる能力と態度を育成することを目的とする。

(追手門学院大学理工学部規程第2条)

情報工学科は、「幅広く深い教養及び主体的な判断力と豊かな人間性を身に付け、倫理観をもって理学と工学の両方の立場からの基礎的な視点を持ち、情報工学に関する「プログラミング」「ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークシステム」「情報セキュリティ」「デジタル情報」「人工知能」などの専門領域に係る教育研究から、基本原理の理解と基礎的な技術力、問題解決能力をもって、現代社会の諸課題に対してプログラミングや情報処理の技術をもって取り組むことで社会に貢献する職業人」を養成します。

養成する人材の目的を達成するための卒業認定・学位授与の方針は、以下の通りとします。

- (1) これまでに修得した知識・技能を活用して、情報工学に関する社会における課題を発見し、主体的に向き合って解決する能力を修得している。
- (2) 情報工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識・技能、思考法を身に付けている。
- (3) 情報工学に関する基礎的・実践的な知識の理解・技能の修得のもと、修得した知識・技能を応用する能力を有するとともに、課題解決をするための思考力を有している。
- (4) 情報工学との関連性や応用性を有する数理科学、データサイエンス分野や工業分野に関する基礎的な知識を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

情報工学科では、卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針との一体性と整合性に留意しつつ、卒業までに学生が身に付けるべき資質や能力を示した卒業認定・学位授与の方針に対する教育課程編成・実施の方針を次のとおり定めることとします。

(1) 卒業認定・学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針

<研究科目>

卒業研究を通して、情報工学に関連する問題発見方法や課題解決手法の修得及び批判力、論理性、表現力を高めるための科目群を設ける。

<基盤共通科目>

情報工学に必要な自然科学の基本を修得するとともに、倫理観をもって理学と工学の両方の立場から物事を捉えるための基礎的な知識と技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基礎科目>

情報工学を修得するうえでの基礎となる知識・技能を修得するための科目群を設ける。

<専門基幹科目>

情報工学に関する理論とその実践に関する専門的な知識・技能を得るための科目群を設ける。

<専門発展科目>

各々の興味関心に基づき、情報工学の立場から課題を発見し解決するための思考力を得るための科目群を設ける。

<専門展開科目>

情報工学との関連性や応用性が深い数理科学、データサイエンス分野や工業分野に関する基礎的な教育内容を取り扱うための科目群を設ける。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

理工学部は、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「理工学分野」として、理工学分野に関する教育研究を通して、「理学と工学の両方の立場から、科学技術に関する研究と教育を実践する」ことを教育研究上の目的としています。

情報工学科では、教育研究上の目的や養成する人材と教育課程との関連性を踏まえたうえで、具体的な入学者受入れの方針について、以下の通りとする。

- 1)本学科の養成する人材像を理解し、プログラミングや情報処理の技術に興味を有している者
- 2)高等学校で履修した数学などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している者
- 3)物事を正しく認識し、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられる能力を有している者